

令和7年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

恵那市青少年育成市民会議

■総会・少年の主張大会（6月14日）

総会の記念行事として「恵那市少年の主張大会」を開催し、市内の中学生10名が堂々とした発表を行った。また、少年の主張大会の記録集『立志の春』を3月に発行し、令和8年度の大会に応募する際の教材として、新中学3年生に配布。

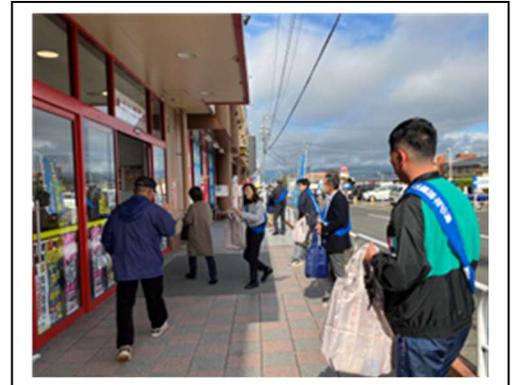
■少年（補導）センター指導員研修会（7月11日）

岐阜県警察本部生活安全部少年課付 岐阜県子ども・女性部子ども・女性政策課 兼 私学振興課 の足立佑貴さんを講師に迎え、「少年非行の現状と街頭補導の心得」をテーマにご講話いただいた。SNSを通じて生じる非行や被害をはじめ、少年非行の実態や街頭補導時の留意点について分かりやすい説明を受けた。出席した少年センター指導員は、深くうなずいたりメモを取ったりしながら熱心に耳を傾けており、研修会は大変充実したものとなった。



■見守りパトロール（9月27日）

恵那駅周辺で開催された「ENAみのじのみり祭」に合わせ、少年（補導）センター指導員が見守りパトロールを実施。午後7時半から約1時間かけて夜間の街中を巡回し、見掛けた青少年に声掛けを行った。防犯意識の醸成につながった。



■秋のこどもまんなか月間 街頭啓発活動（11月1日）

市内の大型スーパーマーケットなどの出入口で啓発活動を実施。参加者は、少年（補導）センター指導員である恵那保護区保護司会や学校教諭、PTA役員、有志の市内高校生ボランティアなど計29名。月間の趣旨をPRしながら、啓発物資の入ったエコバッグを配布した。

■青少年育成市民会議研修会（11月6日）

各地域や所属から76名が参加。第一部では、タレントのスマイリーキクチ氏を講師に迎え、講演会を開催。「言葉の責任～被害者や加害者にならないために～」をテーマに、インターネット上の誹謗中傷や言葉の持つ力、SNSの適切な利用方法について、具体的な事例を交えて分かりやすく語られた。時折笑いを誘う場面もあり、終始和やかな雰囲気の中であっという間の1時間となった。参加者からは「情報モラルの重要性を改めて実感した」「内容が濃く、有意義な研修だった」などの声が寄せられた。第二部では、地域の実践発表が行われ、三郷町青少年育成町民会議と串原青少年育成実行委員会が、それぞれ地域の特色を生かした青少年育成の取組を紹介した。

■広報紙『ゆう‘sねっとENA』の発行

7月・10月・3月の年3回発行。青少年育成市民会議の活動紹介に加え、こどもの居場所を紹介する連載ページや相談窓口の案内など、青少年や保護者の関心を引く内容を掲載した。市内全域への回覧に加えて、市内すべての小中学校にも配布し、広く周知を図った。